



# あさひ台

学 校 報  
第 504号  
R5. 1. 30  
五城目小学校

## 五小っ子の学習状況について

研究主任 椎名 大智

昨年12月1日に4年生以上で実施した秋田県学習状況調査と3年生以上で実施した学習・生活アンケート調査から、五小っ子の様子についてご報告いたします。

### 1 「教科についての調査」の結果について

右のグラフは、五小っ子の学力が県と比較してどのような状態にあるかを示したものです。グラフの左側が本校、右側が県平均を表しています。

ご覧の通り、4～6年生、全ての学年で全教科で県平均を上回るという良好な結果でした。

設問別に見ると、4年生では、国語科の「作文」、算数科の「大きな数の数直線上の読み取り」に関する設問、5年生では、算数科の「計算の工夫」、理科の「星の明るさ」に関する設問、6年生では、算数科の「割合の性質」、理科の「メダカと人の卵の成長における共通点と差異点」に関する設問において、大きく県平均を上回りました。昨年度、課題として挙げられていた国語科の「長文読解」に関する設問については改善が見られましたが、算数科・社会科・理科の「問題場面を正しく把握し、基礎・基本の事項を活用して問題を解決する」設問においては引き続き課題が見られました。

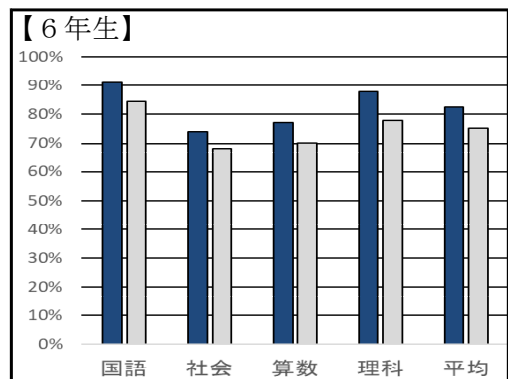
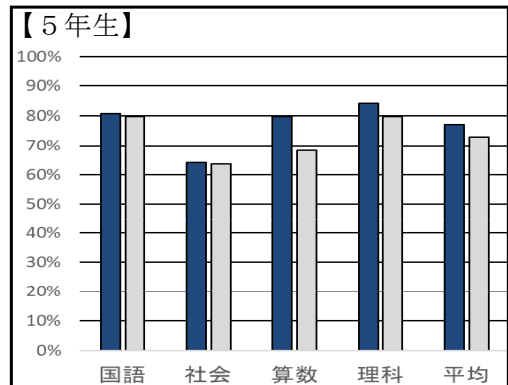
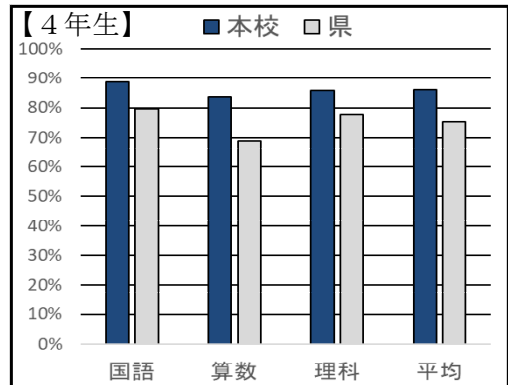
五小っ子たちは、学習に対して真面目に意欲的に取り組んでいます。今回の学習状況調査に向けても、一人一人が自分自身の学習の状況を把握し、自分に合わせた学習に一生懸命取り組んでいました。分からない問題の解き方を友達に聞いたり、家庭学習で復習に取り組んだりしている姿がたくさん見られました。毎日しっかりと見届け、温かく励ましてくださっている保護者の皆様に心から感謝申し上げます。今後、課題として挙げられている点について真摯に受け止め、学力の向上を目指して学校全体で一層努力していきたいと考えております。

### 2 「学習・生活アンケート調査」の結果から

調査結果から、自分を肯定的に捉え、学習に前向きに取り組もうとする五小っ子たちの姿がうかがえます。この意欲は、学校生活だけで高めることはできません。子どもたちの生活の基盤である温かい家庭、そして広い学びの場である地域の協力があってこそ育まれるものです。

今後も学校、家庭、地域がともに手を携え、五小っ子のさらなる学力向上を目指していきたいと思っておりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いたします。

【各教科の調査結果】



【調査に対して、児童が肯定的に回答した割合】

- 勉強が好き (84%)
- 勉強は大切 (97%)
- 学校の勉強がよく分かる (95%)
- 学校が楽しい (95%)
- 自分にはよいところがある (92%)
- 将来の夢や目標をもっている (87%)
- 人の役に立つ人間になりたい (96%)